

第504回:年貢の納め時

今日は3月6日、いきなり私事で恐縮だが、早朝川崎の代官所に出頭し、民草の神聖な義務である年貢米の支払いを行ってきた。血税を搾り取られ、ふらふら状態になって出社し、昨日北京で開かれた中国全人代(日本の国会に相当)のコメントをいま書き始めたところだが、中国もボクと同様に、年貢米の捻出には四苦八苦しているようだ。

李克強首相の行った「政府活動報告」は①昨年の成果、②今年目標、③今年重点取り組みから構成されているが、これまで筆者がコラム等で発表してきたことが全て盛り込まれており、呆氣にとられるくらいサプライズの少ない内容であった。

でもそれは当然ともいえる。経済がここまで悪化すれば、財政出動や金融緩和等につき“玉虫色”の表現を弄ぶ余裕はない。中国が一丸となって苦境に対処するためには、だれでも理解できて、誤解を生じさせる余地のない明確な表現を用いて現状を総括し、目標を定める必要がある。

以下今年の中国の主要政策を列挙するが、金融政策は従前の「穏健中立」から「中立」が削除され、金融緩和方針が明確に打ち出された。

景気テコ入れ策の主役は企業向け減税。製造業と中小零細企業への支援を中心として、増値税の引き下げや公的年金の企業負担軽減が明らかとなった。

地方政府にはインフラ建設に充当する債券発行枠の大幅積み増しを認め、中央政府も鉄道や道路・水運投資を大幅に拡大し、その結果生じる財政赤字もGDP比で2.8%まで容認する太っ腹の椀飯振舞だ。

背に腹はかえられず、習近平主席は中央政府、地方政府、企業が三位一体となって投資拡充に猛進する方針のようだが、これは単なる問題先送りに過ぎず、仮にこれで6~6.5%の成長目標を達成できたとしても、喫緊の課題である規制緩和や改革開放がますます後退して、隠れ債務は再び地下深く潜航する懸念がある。こんなことを続けていると、ソフトランディングできる余地は失われてしまうだろう。

けさの日刊全国紙は、それぞれ一面で全人代の記事を掲載しているが、中国に対し最も好意的な見出しを打っているのが毎日新聞の「中国 雇用強化優先 成長目標下げ6~6.5%」である。

その次は、読売新聞の「中国軍事費7.5%増 成長目標6~6.5%に下げ」かな。

やや厳しいのが朝日新聞「中国経済『試練増える』 6~6.5%成長に引き下げ」。

最も厳しいトーンは日経新聞「中国背水の経済対策 6%成長維持へ減税33兆円」である。「背水の陣」を敷いたのは漢の名将韓信で、敢えて川を背にして陣をとり、味方に退却できないという決死の覚悟をさせ、敵を破ったという故事が有名だが、崖縁に追い詰められた中国経済を正確に表現した報道である。

さて李克強首相の政府活動報告で、唯一のサプライズは「地域間の調和発展を促進し、新型都市化の質を高める」方針である。主要部分をそのまま引用する。「京津冀協同発展の重点を北京の首都機能以外の

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

諸機能の分散に置き、高い基準で雄安新区を建設する。粵港澳大湾区建設計画を着実に実施し、ルールのすり合わせをはかり、生産要素の移動と人の往来の円滑化を促す。**長江デルタ地域一体化発展を国家战略に格上げし、発展計画要綱を策定・実施する。長江経済ベルトの発展では、上流・中流・下流の流域間協力を堅持し、生態系の保護・復元と総合交通運輸体系の整備を強化し**(以下略)。

習近平政権が進める経済対策の目玉PJとして、海外は「一帯一路」、国内(北部)では、「北京郊外“雄安新区”に、“千年の大計”として副都心を建設する」大規模開発計画、そして国内(南部)がビッグベイエリア、ここまでは既に明らかとなっているが、ここに上海を中心とする長江デルタ地域が加わるようになった。

中国はこれまでの約40年、地域的には次のような発展段階で成長を遂げてきた。

まず80年代に鄧小平が広東省・福建省に四大経済特区(深圳・珠海・汕頭・廈門)を設置し、外資の力を借りながら“珠江(パール・リバー)経済圏”を立ち上げた。

続く江沢民主席は、上海に浦東経済新区を立ち上げ、ここを巨龍の頭にして、尻尾が蘇州・無錫・常州・南京・武漢等へ伸びる“長江経済圏”を立ち上げた。

江沢民の後を継いだ胡錦濤主席は天津、北京を核にし、山東省や遼寧省まで加えた“環渤海湾経済圏”の建設を進めた。

そして沿岸部に3大経済圏がほぼ完成したのを見た後任の習近平主席は、西安・重慶・成都を中心にして、これを大きく取り囲む“西部経済圏”の建設を進めているが、これは日本の数倍規模の農村地帯の開発であり、長期政権を目指す習近平氏でも、彼の任期中に完成できる保証はない。

そこで習主席は、自分の任期中に実績を出そうとして、環渤海湾地域の中に“雄安新区”という副都心を作り、北京・天津・雄安新区のトライアングル地帯で首都圏機能の調整を図りたい考えだ。

しかも習主席は雄安新区だけでは満足せず、鄧小平の築いた珠江経済圏に香港とマカオを加えた珠江経済圏のアップグレード版“ビッグベイエリア”の建設を指導している。

それでも、それでも習主席は満足せず、遂には彼の政敵でもある江沢民が築き上げた長江経済圏にも、手を加えて最新バージョンを完成させ、沿岸三地域の実績を独占したい考えのようだ。

行政の壁を上手く打破して、上海市・浙江省・江蘇省・湖北省などを横断的に管理・運用できる経済圏を目指す考えは理解できるが、先人の功績を上手く利用するセコイ戦略とみえないこともない。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成31年3月6日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

① 株式の手数料等およびリスクについて

- ・ 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- ・ 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金) に現地委託手数料と税金等を買の場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

② 債券の手数料等およびリスクについて

- ・ 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- ・ 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- ・ 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- ・ 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第 121 号
日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会 加入
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040